

# 招請状

**全原発の停止・廃炉！「教育の民営化」と対決し、学生自治会を甦らせよう！**

**全国の学友は、全学連第72回定期全国大会に集まろう！**

2011年7月8日 全学連中央執行委員会(織田陽介委員長)

全国学友のみなさん！ 全学連中央執行委員会は9月9日～10日に開催する全学連第72回定期全国大会への結集を訴えます。

第一に、キャンパスから「原発反対！」の声をあげ、学生自治会を甦らせよう！ 全原発の停止・廃炉を求めるすべての学生は、全学連大会に集まろう。原発推進・稼働を最優先し、人命や住民の生活を切り捨てる——福島第一原発事故や玄海原発の再稼働をめぐって示された菅政権の本性は、あらゆる人々の怒りをかき立てています。今やこの怒りは6月11日の全国100万人デモをはじめとする大衆行動の爆発としてあらわれ、全原発の停止・廃炉に向けての壮大な展望を切り開いています。何よりも「フクシマの怒り」です。放射能への恐怖をはねのけ、「原発がなくなったら生活はどうする」「今までカネをもらってきたじゃないか」などの非難をふりきり、6月19日に福島現地で原発反対の大デモが行われました。そしてその怒りは全世界に波及し、ドイツやイタリアではついに、原発推進政策にノーが叩きつけられました。

あらゆる反原発デモの先頭に、私たちと同じ、未来を担う青年・学生が立っています。原発を止める力は私たち学生自身の中にあります。原発事故を契機に、原発推進大学と御用学者の存在が明らかになりました。長崎大学の山下俊一教授(福島県放射線健康リスクアドバイザー)は、「低線量被曝なら人体に影響はない」と被曝を容認しています。それだけでなく、「節電」キャンペーンによって大学をあげて原発推進政策に与しています。福島大生は言います。「私たちが発言すれば変わります。原発はなくせませう」(6・19福島集会での発言)——原子力政策は、原発を擁護し、幻想をふりまく御用学者がいることによって成り立っています。キャンパスから「原発反対！」の声をあげ、御用学者を叩きだそう！

第二に、「戦争と生活破壊」と闘い、学生自治会を甦らせよう！ 日本の原子力政策の根幹には、核武装の欲求があります。原発とともに、核と戦争に反対の声を上げよう！ さる6月21日に開催された日米安全保障協議委員会(2プラス2)では、「中国の脅威」が日米で確認され、沖縄・辺野古への新基地建設が決定されました。これは日米同盟の重大な強化、新たな戦争への踏み込みです。カネと暴力にモノを言わせ、基地建設を強行するあり方は、原発建設とまったく同じです。基地や原発を必要とする社会のあり方そのものを根本的に変えなければなりません。そして、日本の有事体制の要

Ⅱ 成田軍事空港建設と闘う三里塚闘争に連帯しよう！

さらに、仲間と自らの生活・未来をかけ、学生は闘いに立ち上がろう！ 大震災下で百万単位で吹き荒れる首切りと賃下げ、過去最低の学生の就職内定率。「学費—就活—奨学金」によって、学生は食い物にされています。そして、学生・労働者にすべての犠牲を押しつけ、国家と大企業(大資本)の利益を確保しようとするのが菅政権です。「百年に一度の危機」と言われる現在の世界大恐慌の中で、一方では資源・市場をめぐる国家間の対立(戦争)が激化し、他方ではこれまでにないほど学生や労働者の生活が脅かされています。「戦争反対」と「生活防衛」を掲げ結成された1948年の全学連結成時の闘いが、今こそ求められています。

第三に、「教育の民営化(私物化)」による大学・学問の腐敗と闘い、学生自治会を甦らせよう！ 大学による原発推進は、「教育の民営化」と一体的に進行しました。「教育の民営化」とは何か。「大学とは原材料を仕入れ、加工して製品に仕上げ、卒業証書をつけて企業に送り出す場所である」(首都大学東京理事長・高橋宏)——この言葉や「産官学」路線に象徴されるように、現在の大学は、企業と一体となって大学を金もうけの場に変えると同時に、学生からあらゆる権利・自由を奪い、社会を批判し大学に反抗する芽をつみとるため、学生の団結(学生自治)を解体してきました。

その象徴が2004年の国立大学法人化です。2001年の中央省庁再編により、文部省と原子力推進政策を担ってきた科学技術庁が統合され、文部科学省が誕生しました。それまで禁じられていた原子力予算の大学への直接の供与が大々的に行われ始め、国立大学法人化によって教育予算を削減される大学、あるいは原発利権に群がる大学が雪崩をうって原発推進の道に進んでいきました。

しかしこれに対し、2006年以来的法政大学における闘いは、「教育の民営化」をうち破り、学生の団結を拡大し続けています。この闘いに続き7月8日には被災地・東北大学で学生自治会が主催するキャンパス集会が開催されました。法大と東北大に続き、全国の自治会・寮・サークルで「教育の民営化」と闘い、学生自治をつくろう！

歴史の帰趨は、私たち学生の双肩にかかっています。常に日本の学生は時代の最先端、社会変革の最先頭に立ってきました。今こそ学生の力が求められています。300万学生は全学連第72回定期全国大会に集まろう！

## 大会要項

【日時】 9月9日(金)～10日(土)

【会場】 東京都内

【参加費】 1000円(会場費、資料代など) ※宿泊費は除く

【連絡先】 TEL 050-3036-6464 mail\_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/